

ID No.	3037
研究課題名	肺線維症における IL-33、IL-25, TSLP の機能解析
研究代表者	平石 尚久 (東京大学・助教)
研究組織 受入教員 研究分担者	中江 進 (東京大学医科学研究所・准教授) 山口 幸子 (東京大学医科学研究所・技術職員)
研究報告 平成29年度に、遺伝子改変マウスとして、IL-33欠損マウス、IL-25欠損マウス、TSLP欠損マウスを用いて、野生型マウスとのブレオマイシン投与後14日時点での気管支肺胞洗浄(BAL)液の白血球細胞分画の比較検討を行った。白血球細胞分画として、好中球数、好酸球数、リンパ球数、マクロファージ数の検討を行った。 結果としては、野生型モデルではブレオマイシンモデルではPBS投与分と比較し、リンパ球数、マクロファージ数の増加がみられるが、IL-33欠損マウス、IL-25欠損マウス、TSLP欠損マウスでは野生型マウスに比し、リンパ球数、マクロファージ数の増加に有意な差は認めなかった。 また同様に野生型マウスとのブレオマイシン投与後14日時点での肺組織の炎症についての比較検討を行った。 結果としては、野生型モデルではブレオマイシンモデルでは PBS 投与分と比較し、肺胞領域の澄明な炎症細胞浸潤および胞隔炎がみられるが、IL-33 欠損マウス、IL-25 欠損マウス、TSLP 欠損マウスでは野生型マウスに比し、炎症の程度にスコアリングにて有意な差は認めなかった。	